

食物アレルギー緊急対応時の流れ

時間	児童の様子	症状	担任	他教員
1 発生 初期	誤食の確認 自覚症状が出る 教員が症状を確認	アレルギー前段階 アレルギー初期症状	担任は、発生した児童から離れない。 近接クラスの担任等に助けを求める（学級の児童に伝言を頼む） ・保健室へ児童を搬送 ・管理職へ報告 ・養護教諭へ報告 ・栄養士へ報告	管理職 報告を受ける。 児童の症状確認 事故発生の状況確認 教育委員会へ報告 （5 6 6 2 - 1 6 3 4） 養護教諭 報告を受ける。 児童の症状確認 初期対応 保護者へ対応確認のための連絡 栄養士 アレルギー表の確認 除去内容の確認 給食保健係へ報告 （5 6 6 2 - 1 6 2 6）
2 経過 観察	小康状態			養護教諭 保健室で児童状態観察 管理職へ随時報告
3 症状 進行	症状悪化	アレルギー症状の悪化 5分以内で判断して、必要に応じてエピペンを使用 R6年度エピペン使用児童 — — — — — 各名		管理職 救急車要請判断・要請 小岩消防署 （3 6 7 7）0 1 1 9 養護教諭 児童看護（預かっている薬、場合によってエピペン使用） 救急車に乗車

アレルギー症状

全身の症状	皮膚の症状
<ul style="list-style-type: none">・意識がない・意識が朦朧としている・ぐったりしている・尿や便をもらす・脈がふれにくい・唇や爪が青白い	<ul style="list-style-type: none">・かゆみ・じんましん・赤くなる <消化器の症状> <ul style="list-style-type: none">・腹痛 ・下痢・吐き気 ・嘔吐
呼吸器の症状	顔面・目・口・鼻の症状
<ul style="list-style-type: none">・声がかすれる・犬が吠えるようなせき・のどや胸が締め付けられる・せきが出る・息がしにくい・ゼーゼー、ヒューヒューと音がする	<ul style="list-style-type: none">・顔面の腫れ・目のかゆみや充血、まぶたの腫れ・くしゃみ、鼻水、鼻づまり・口の中の違和感、唇の腫れ